

自然災害から 人や町を守ろう

～防災工学入門～



東日本大震災

自然災害の脅威を「体感」
してみませんか？

昨年度の様子



東日本大震災による被害は、未だ多くの人の生活に大きな影響を与えています。さらに地震や津波だけではなく、洪水、地すべり、台風、大雪、雷と、日本はいろいろな自然災害の脅威にさらされています。しかし、私たちは日常の生活では、あまり自然災害を意識することは少なく、人ごとと考えてしまいがちです。

自然災害は、忘れたところに突然やってきます。自分の命、大切な人の命を守るために、自然災害の怖さや防災知識を知ることが重要です。

このプログラムでは、地震、洪水、斜面崩壊などの実験を通して、皆さんに自然災害を体感してもらいます。

【開催日】 2011年7月31日(日)

【開催時間】 10:30～15:30

【参加費】 **無料** (中学生には昼食付き)

【開催場所】 立命館大学 びわこ・くさつキャンパス
ローム記念館

(滋賀県草津市野路東1-1-1)

【募集対象】 中学生約30名(保護者参加可能)

※ 家族・学校関係者の方も参加申し込み可能です。
なお、応募多数の場合は、実験設備の都合により参加いただけないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、実験内容は昨年度と同じです。

【注意事項】 筆記用具を持参して下さい。
汚れても良い服装で参加して下さい。

内 容

①振動台で地震の揺れを体験。
丈夫な橋も作ってみよう。

担当: 伊津野和行(理工学部教授)
野坂克義 (理工学部准教授)

②斜面や地盤を作って、
斜面崩壊と液状化を観察しよう。

担当: 深川良一 (理工学部教授)
酒匂一成 (R-GIRO准教授)

③洪水を再現。
災害時の川や土砂の流れを実感しよう。

担当: 里深好文 (理工学部教授)

ひらめき☆ときめきサイエンス ～ようこそ大学の研究室へ～ KAKENHI とは？

本企画は、独立行政法人日本学術振興会「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI」事業の採択を受けて、以下の科学研究費補助金の研究成果を中学生の皆さんにわかりやすく公開するものです。最先端の研究成果の一端を見る、聞く、触れることで、学術と日常生活との関わりや、科学(学術)がもつ意味に対する理解を深めていただく機会を提供するプログラムです。

KAKENHI (テーマのもととなる科学研究費補助金)

研究者	研究期間	研究種目	研究課題
伊津野和行	H17-19	基盤研究(B)	緩衝機能を有する落橋防止装置の耐力と変形性能の評価および動的設計法の開発
伊津野和行	H22-24	基盤研究(B)	災害弱者の視点に立った減災システムと防災ユニバーサルデザインの開発

代表者より



伊津野 和行
IZUNO KAZUYUKI

理工学部教授
都市システム工学科

構造物を地震から守る耐震工学が専門です。
今回は、地盤や河川といった、いろいろな防災の専門家に集まってもらいましたので、幅広く学んでもらえると思います。夏休みの自由研究のテーマにいかがでしょうか？

スケジュール

10:00～10:30 受付 (10:30までにお越しください)
10:30～10:55 開講式, オリエンテーション,
科研費についての説明
11:00～11:50 実験①
11:50～12:50 昼食(クッキータイム含む)
12:50～13:40 実験②
14:00～14:50 実験③
15:00～15:30 修了式
(アンケート記入, 未来博士号授与)
15:30 解散
(班分けをして, 3種類の実験を体験してもらいます)

ホームページ

<http://www.ritsumei.ac.jp/se/rv/hirameki/bousai.html>

申込方法

申込用紙の内容を, 7月8日(金)までにFAXまたはメール送信してください。(先着順) 後日、参加証(はがき)を郵送いたします。

申込・問い合わせ先

立命館大学リサーチオフィスBKC(担当:松田) 〒525-8577滋賀県草津市野路東1-1-1
TEL: 077-561-2802 FAX: 077-561-2811 e-mail: j-m-a@st.ritsumei.ac.jp

申込用紙

この用紙下部をご利用下さい(コピー可)。上記HPからも申込用紙がダウンロードできます。

氏名	学校名	学年 (○で囲んでください)	連絡先
		1年・2年 3年・保護者 教員	〒 TEL:
		1年・2年 3年・保護者 教員	〒 TEL:
		1年・2年 3年・保護者 教員	〒 TEL: